

# 『令和元年10月 台風第19号』 出水概要



狩野川台風（昭和33年）の被災状況



普段の狩野川放水路の様子



狩野川放水路が狩野川の洪水（台風第19号）を大幅に低減する様子  
（昭和40年完成）

令和元年11月13日

国土交通省 中部地方整備局

※本資料の数値等は、速報値及び推定値であるため今後の調査により変更の可能性があります。

1. 台風第19号の概要
2. 水位の状況
3. 各河川の状況
4. 被災状況
5. ハード対策の効果
6. 逃げ遅れゼロに向けた取組と効果
7. 自治体等への支援の状況
8. 関係機関との連携

# 1. 台風第19号の概要

- ・台風第19号(狩野川台風に匹敵する旨、気象庁が説明)により、静岡県や関東甲信地方、東北地方を中心に広い範囲で記録的な大雨となりました。10日からの総雨量は、神奈川県箱根町で1,000ミリを超えました。
- ・中部地方整備局管内においては、広い範囲で降り始めからの総雨量が300ミリを超えました。特に静岡県中部、東部及び伊豆地方では猛烈な雨となり、降り始めからの総降水量は、伊豆半島の湯ヶ島で778ミリを観測しました。

## ●台風概要

発生期間	2019年10月6日3:00 ～10月13日12:00
大きさ・強さ	大型・非常に強い
最低気圧	915hPa
最大風速	55m/s
暴風半径	370km

## ●気象庁による臨時記者会見

気象庁は11日、臨時記者会見を開き、1958年(昭和33年)9月に死者・行方不明者1200人以上を出した「狩野川台風」に匹敵する記録的な大雨となるおそれもあると説明し警戒を呼びかけた。

[気象庁HP]

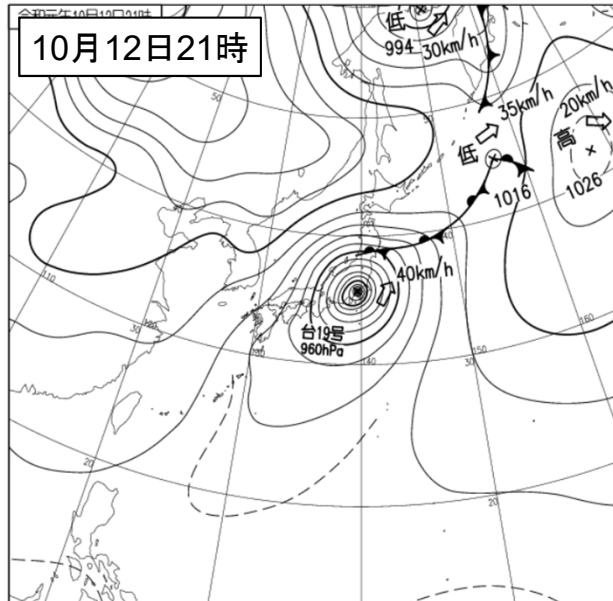
### 台風第19号について(10月11日)

令和元年10月11日11時00分 気象庁

大型で非常に強い台風第19号は、12日夕方から夜にかけて、非常に強い勢力を保ったまま東海地方または関東地方に上陸し、その後東日本から東北地方を北東へ進む見込みです。12日から13日にかけて、東日本を中心に、西日本から東北地方の広い範囲で猛烈な風が吹き、海は猛烈なしけとなり、記録的な暴風となるところもあるでしょう。また、台風本体の非常に発達した雨雲がかかるため、広い範囲で記録的な大雨となる見込みです。状況によっては、大雨特別警報を発表する可能性があります。伊豆に加えて関東地方でも土砂災害が多発し、河川の氾濫が相次いだ。昭和33年の狩野川(かのがわ)台風と匹敵する記録的な大雨となるおそれもあります。全国的に、暴風、うねりを伴った高波、大雨による土砂災害、低い土地や地下施設の浸水、河川の増水や氾濫、高潮や高潮と重なり合った波浪による浸水や沿岸施設の損壊に厳重に警戒してください。また、落雷、竜巻などの激しい突風に十分注意し、交通障害や農作物の管理、停電、塩害などにも留意してください。

各地の気象台の発表する警報・注意報など気象情報に留意するとともに、自分の命、大切な人の命を守るために、風雨が強まる前に、夜間暗くなる前に、市町村の避難勧告等に従って、早め早めの避難、安全確保をお願いします。

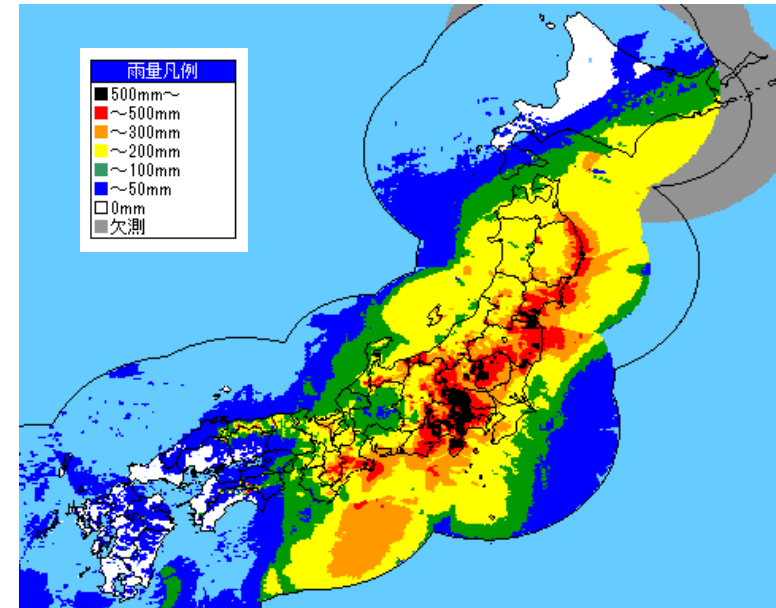
## ●天気図



## ●台風進路



## ●総降水量分布図



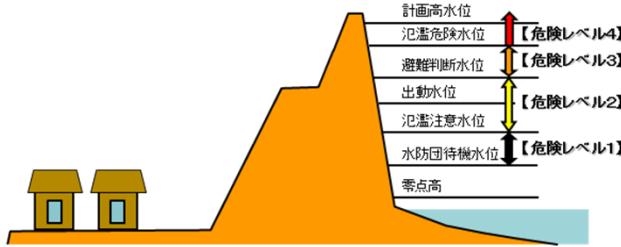
(静岡県気象台 令和元年台風第19号に関する静岡県気象速報より)

10/11 6:00から10/13 23:00までの累加雨量

# 2. 水位の状況(中部地方整備局管内の水位状況)

・中部地整管内では、狩野川本川、支川黄瀬川 および 菊川本川、支川牛淵川で氾濫危険水位を超過しました。

- 赤色 : 氾濫危険水位超過
- 黄色 : 避難判断水位超過
- 緑色 : 出動水位超過
- 青色 : 氾濫注意水位超過
- 水色 : 水防団待機水位超過



(単位: m)

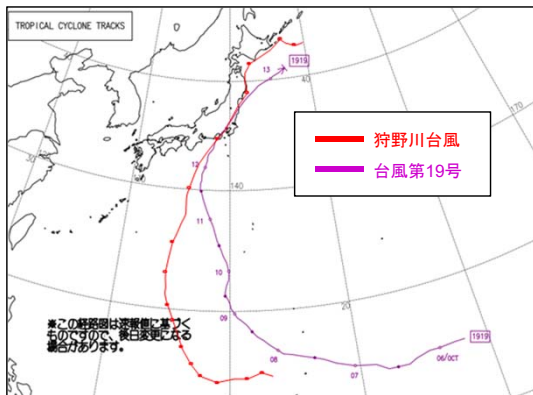
水系名	河川名	観測所名	今回 最高水位	水防団 待機水位	氾濫 注意水位	出動水位	避難 判断水位	氾濫 危険水位	計画 高水位
狩野川	狩野川	大仁	10/12 18:10 3.11	1.50	2.10	3.00	3.70	4.40	5.64
		徳倉	10/12 20:10 7.41	3.00	4.00	6.80	7.20	7.58	
	来光川	蛇ヶ橋	10/12 18:20 7.95	3.70	5.20	6.10	8.10	8.45	
	大場川	大場	10/12 20:00 7.30	3.00	4.80	5.40	7.20	7.60	7.84
	黄瀬川	本宿	10/12 20:10 4.89	2.00	3.00	3.80	3.90	4.20	6.18
安倍川	安倍川	手越	10/12 20:00 3.08	1.50	2.40	3.00	3.40	4.00	4.82
	藁科川	奈良間	10/12 18:40 2.89	2.30	3.70	4.70	6.40	7.70	8.02
大井川	大井川	神座	10/12 20:00 0.72	0.90	2.00	2.60	2.60	3.20	6.45
菊川	菊川	加茂	10/12 17:40 4.61	1.50	2.50	3.20	3.20	3.50	5.94
		横地	10/12 17:30 3.82	1.80	2.10	2.30	2.70	4.06	
		堂山	10/12 18:20 5.48	3.10	4.60	4.90	4.90	5.30	5.86
	下小笠川	川久保	10/12 17:10 2.52	1.40	2.00	2.50	3.00	3.30	-
天竜川	天竜川	天竜峡	10/13 0:40 10.17	9.70	11.00	12.50	15.60	16.20	20.20
		鹿島	10/12 21:00 0.47	2.20	3.50	4.50	5.60	6.00	8.77
豊川	豊川	石田	10/12 17:50 2.74	2.40	4.20	4.70	6.20	7.40	8.13
矢作川	矢作川	岩津	10/12 21:30 2.06	4.00	4.90	6.40	7.80	8.50	10.89
庄内川	庄内川	枇杷島	10/12 12:00 2.13	4.60	5.60	6.30	8.50	8.90	9.08
木曾川	木曾川	犬山	10/13 2:00 2.94	5.80	9.20	10.40	11.60	12.20	14.22
		長良川	10/13 12:00 -2.97	1.00	2.00	3.50	5.30	5.50	6.68
		揖斐川	10/12 23:00 -0.39	2.50	4.00	5.00	5.80	6.40	7.09
鈴鹿川	鈴鹿川	高岡	10/12 16:50 1.7	2.50	3.60	3.60	4.40	7.25	
雲出川	雲出川	雲出橋	10/12 16:10 3.54	3.00	3.70	4.00	5.00	5.40	6.74
		中村川	10/12 13:40 2.76	1.50	2.30	2.50	2.50	2.80	3.88
		波瀬川	10/12 15:00 2.26	1.70	2.20	2.20	2.20	3.40	3.49
櫛田川	櫛田川	両郡	10/12 17:10 4.22	3.00	3.50	4.00	5.80	6.70	8.63
		佐奈川	10/12 10:30 2.4	1.60	2.00	2.40	2.70	3.20	3.27
宮川	宮川	岩出	10/12 15:30 4.98	4.20	5.00	6.10	7.20	8.20	9.61
		勢田川	10/12 9:10 2.55	2.50	2.60	2.90	3.20	3.40	3.52

# 3. 各河川の状況(狩野川)

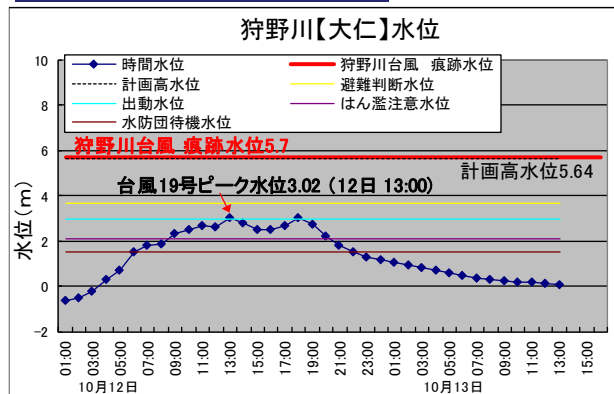
## 出水の状況(狩野川台風(S33.9)との比較)

- ・台風第19号は、狩野川流域で甚大な被害をもたらした狩野川台風と同様のコースとなりました。
- ・総雨量では狩野川台風を超過した地点もありましたが、雨の振り方の違いやこれまでの河川整備により、狩野川の水位は、狩野川台風を超えることはありませんでした。

### 台風進路



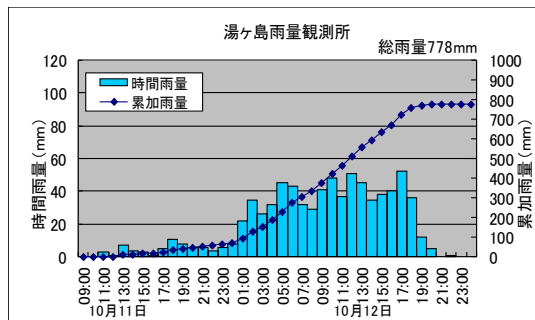
### 狩野川の水位(大仁地点)



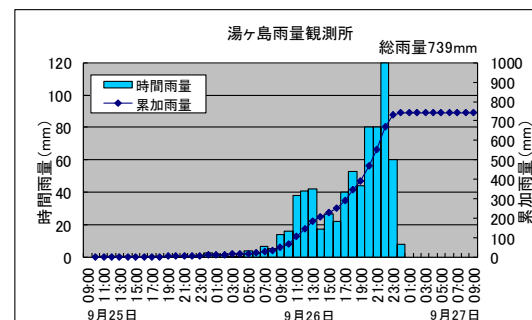
### 湯ヶ島観測所の雨量

	台風第19号	狩野川台風(S33.9)
総雨量	778 mm	739 mm
時間最大雨量	52 mm	120 mm

### ■ 台風第19号

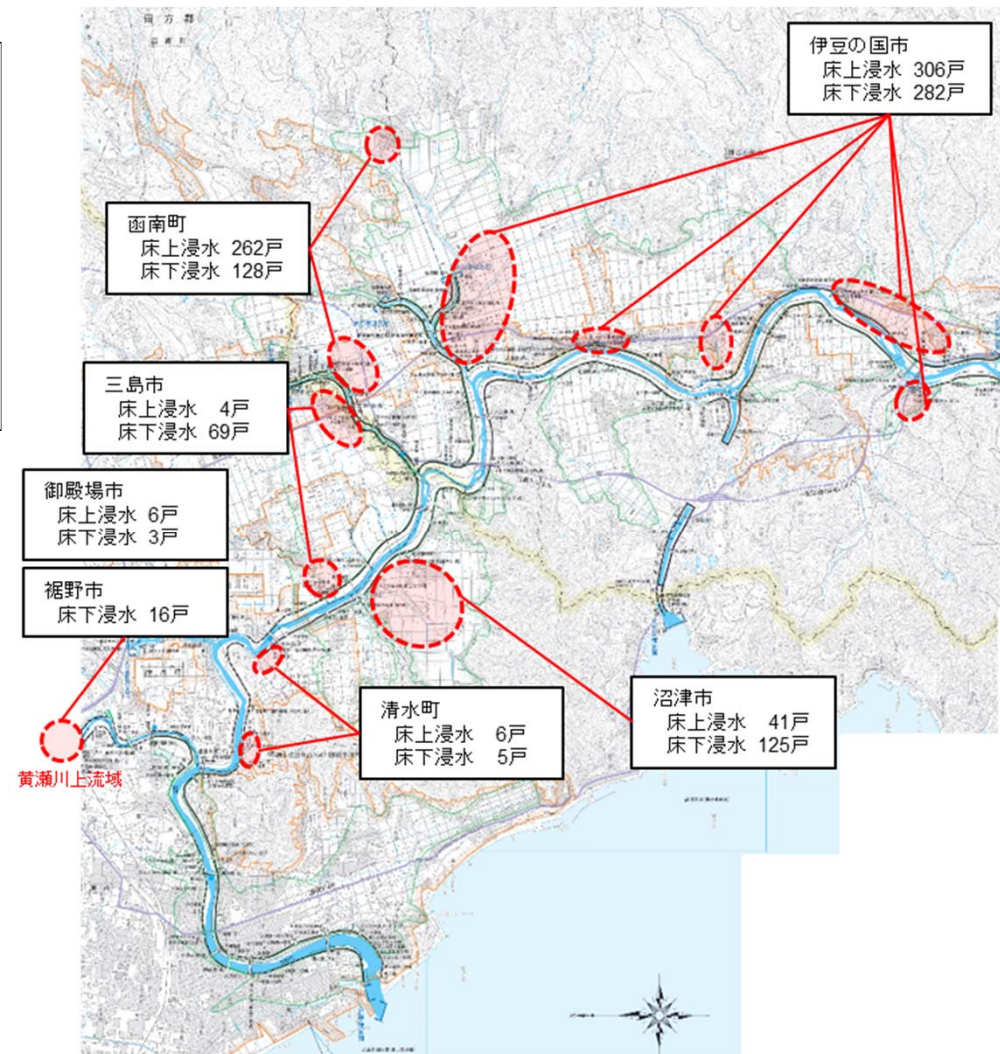


### ■ 狩野川台風(S33.9)



## 一般被害の状況

- ・狩野川台風の総降雨量は超えたものの、雨の降り方の違いやこれまでの河川整備により、堤防の決壊などの甚大な被害は発生しませんでした。
- ・しかし、内水氾濫による浸水被害(床上;625戸、床下;628戸)\*が多数発生しました。



\*令和元年台風第19号等による被害状況等について(第42報)(2019年11月12日現在)

# 3. 各河川の状況(菊川)

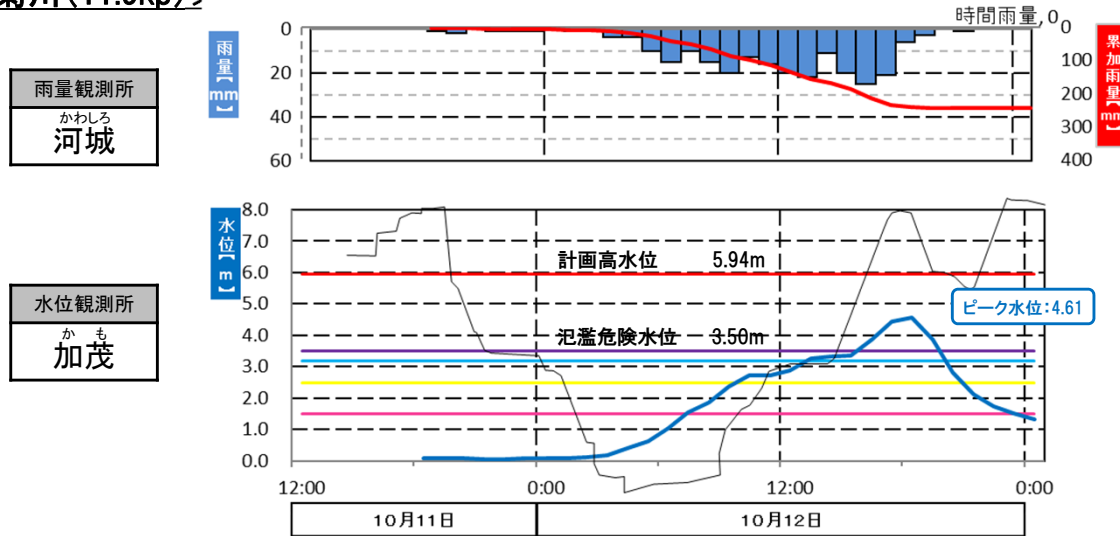
## 出水の状況

・菊川本川では、<sup>かわしろ</sup>河城観測所で総雨量244mm(時間最大25mm/h)、牛淵川では、<sup>たんの</sup>丹野観測所で総雨量380mm(時間最大51mm/h)を観測し、菊川本川の加茂観測所、および菊川支川牛淵川の横地観測所で、氾濫危険水位を超えました。

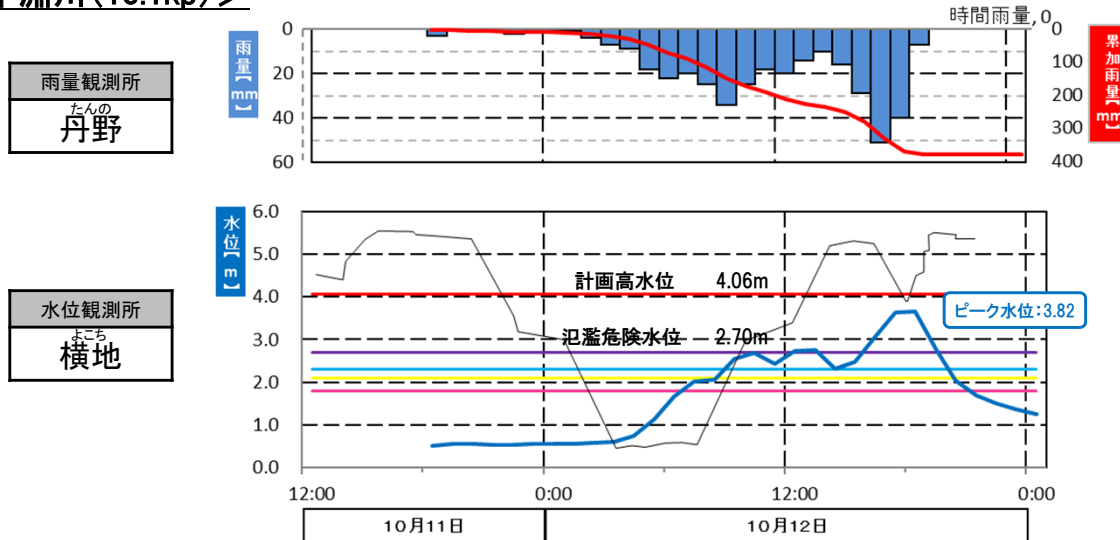
## 一般被害の状況

・堤防決壊による甚大な被害は発生しませんでした。  
・しかし、越水による浸水被害(1カ所)や、内水氾濫による浸水被害(床上;25戸、床下;151戸)<sup>\*</sup>が多数発生しました。

### <菊川(11.9kp)>



### <牛淵川(10.1kp)>

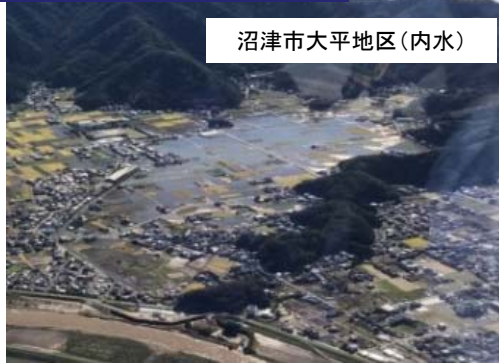


※令和元年台風第19号等による被害状況等について(第42報)(2019年11月12日現在)

# 4. 被災状況(河川)

・狩野川台風の総降雨量を超えた地点はあったものの、雨の降り方の違いやこれまでの河川整備により、堤防の決壊などの甚大な被害は発生しませんでした。内水氾濫による浸水被害は多数発生しました。

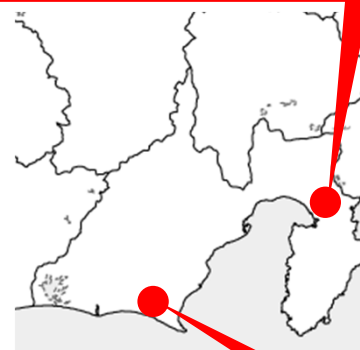
## 狩野川流域の浸水状況



## ■ 中部地方整備局管内の一般被害※

都道府県	水系	浸水家屋数	
		床上 (約戸)	床下 (約戸)
静岡県	狩野川	625	628
静岡県	菊川	25	151
静岡県	その他	301	833
三重県	宮川	20	

※令和元年台風第19号等による被害状況等について(第42報)(2019年11月12日現在)

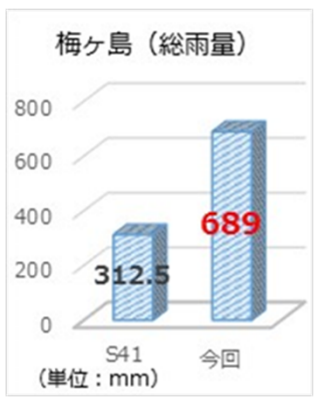


## 菊川流域の浸水状況

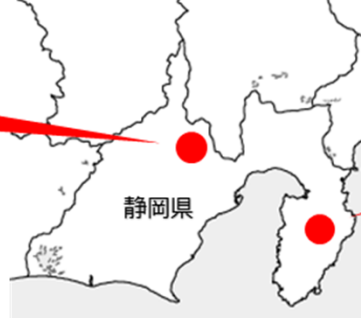


# 4. 被災状況(砂防)

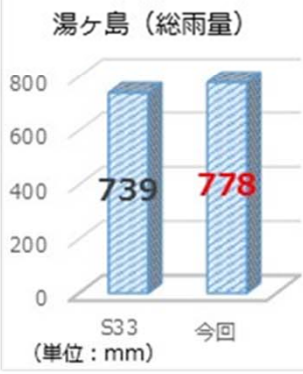
・昭和41年梅ヶ島災害、狩野川台風など過去の災害を上回る降雨だったものの、多くの砂防設備を着実に整備してきた結果、静岡県内の直轄砂防については、大きな被害はありませんでした。



これまでに安倍川水系で39基の砂防施設を整備



これまでに狩野川水系で129基の砂防施設を整備





# 5. ハード対策の効果(狩野川放水路)

## 狩野川放水路の治水効果(速報)

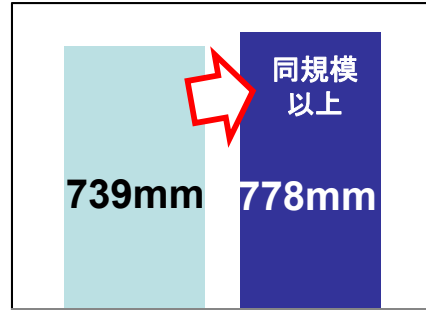
- 狩野川放水路は昭和23年のアイオン台風を契機として昭和26年に着工し、その後、昭和33年の狩野川台風による甚大な被害を受けて計画を見直し、昭和40年に完成しました。(事業費約300億円(現在価値))
- 今回の令和元年台風第19号は、狩野川流域に対して、**狩野川台風よりも多くの雨**をもたらしました。
- 今回、放水路直上流にある千歳橋流量観測所で約2,060m<sup>3</sup>/sの流量を観測しましたが、このうち約1,000m<sup>3</sup>/sを放水路で分派したことにより、**分派下流地点の沼津市や三島市等を通る本川水位を低下**させることができました。
- 昭和33年狩野川台風では、狩野川流域において死者・行方不明者853人、家屋浸水6,775戸の甚大な被害が発生しましたが、今回の台風第19号では、**狩野川本川からの氾濫を防ぐことができ、人的被害をゼロ、家屋の浸水被害も内水等による約1,300戸に抑えることができました。**(狩野川放水路による狩野川本川からの氾濫被害の防止効果は、約7,400億円と推定)

### 狩野川台風との比較(総雨量)

#### 総降雨量

■狩野川台風(昭和33年9月)  
湯ヶ島雨量観測所で**739mm**

■令和元年台風第19号  
湯ヶ島雨量観測所で**778mm**  
※今回の洪水で流域最大



狩野川台風 台風第19号

平常時

今回の洪水



狩野川放水路により、約1,000m<sup>3</sup>/sの洪水を分派し  
本川の流量を低減

### 狩野川台風(昭和33年)の被害と今回の被害の比較

#### ■狩野川台風(昭和33年)

死者・行方不明者：853人  
堤防決壊：14箇所、  
家屋浸水：6,775戸

#### ■台風第19号(令和元年)

死者・行方不明者：0人  
堤防決壊：0箇所  
家屋浸水：約1,300戸※

※『令和元年台風第19号等による被害状況等について(第42報)(2019年11月12日現在)』より、内水等による家屋浸水戸数を集計

⇒狩野川本川の越水を防ぎ、  
人的・物的被害を軽減

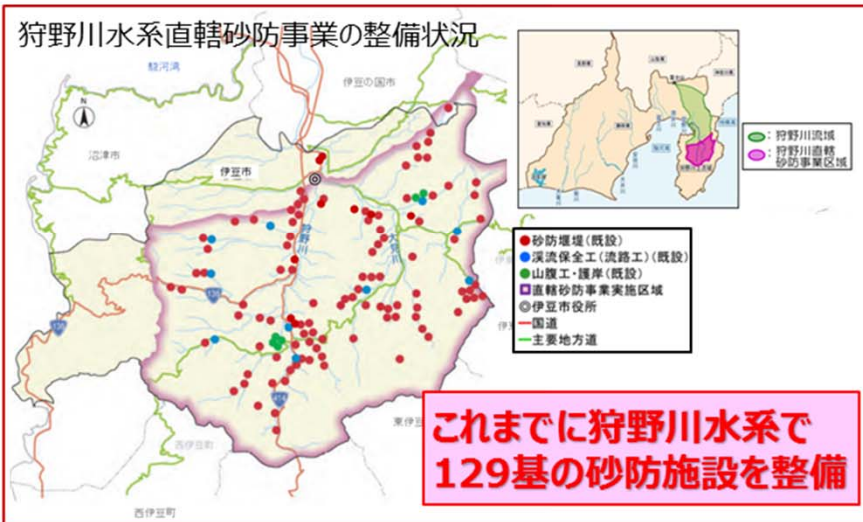
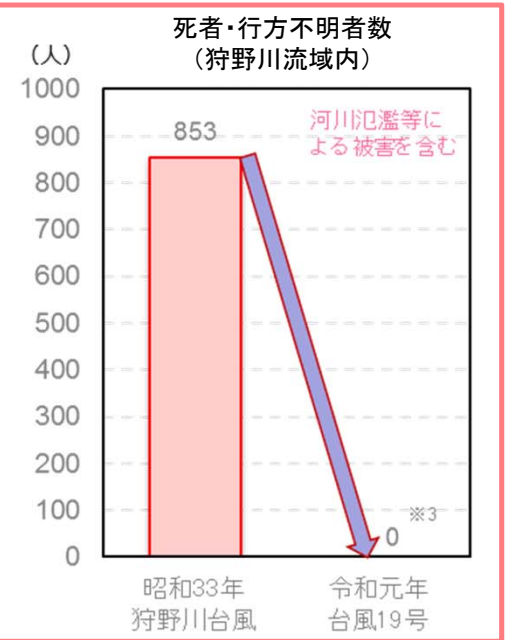
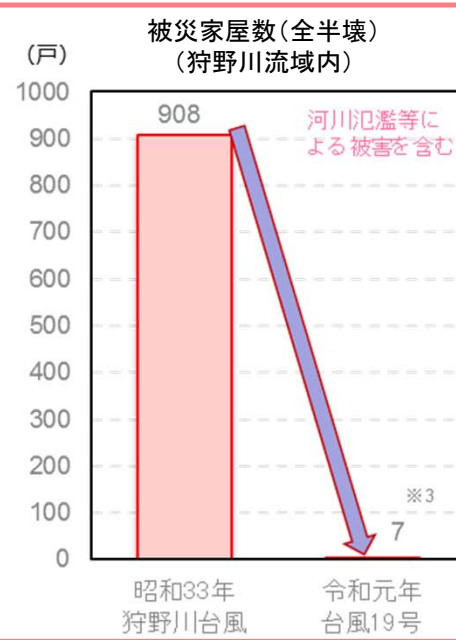
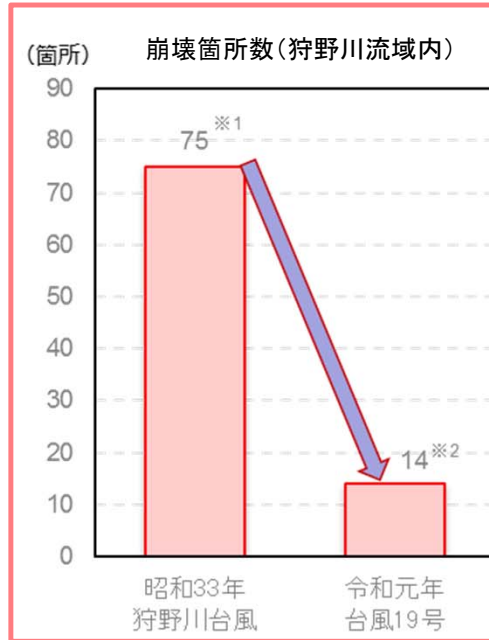
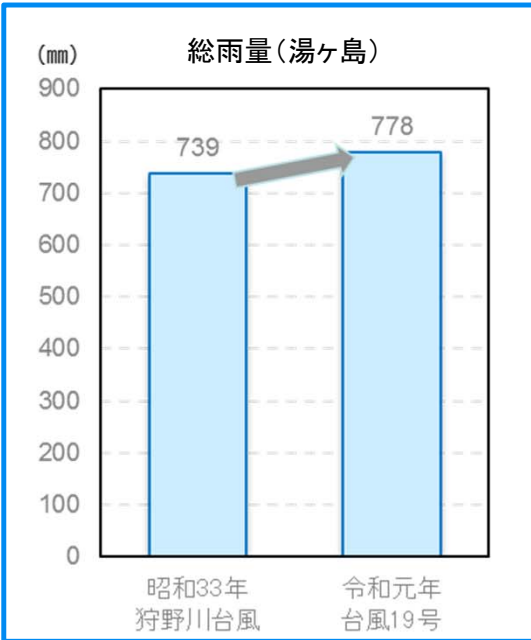


狩野川台風(昭和33年)による浸水被害の範囲

# 5. ハード対策の効果(砂防堰堤)

## 狩野川流域における砂防事業(狩野川水系直轄砂防事業)の効果(速報)

- ・令和元年台風第19号により、狩野川流域では昭和33年の狩野川台風を超える豪雨が発生
- ・一方、狩野川台風を契機に着手された直轄砂防事業によって整備された砂防堰堤等が効果を発揮し、流域内の被害発生を未然に防止



狩野川台風(S33)による被害(伊豆市)



台風19号豪雨に伴う流出土砂の捕捉状況



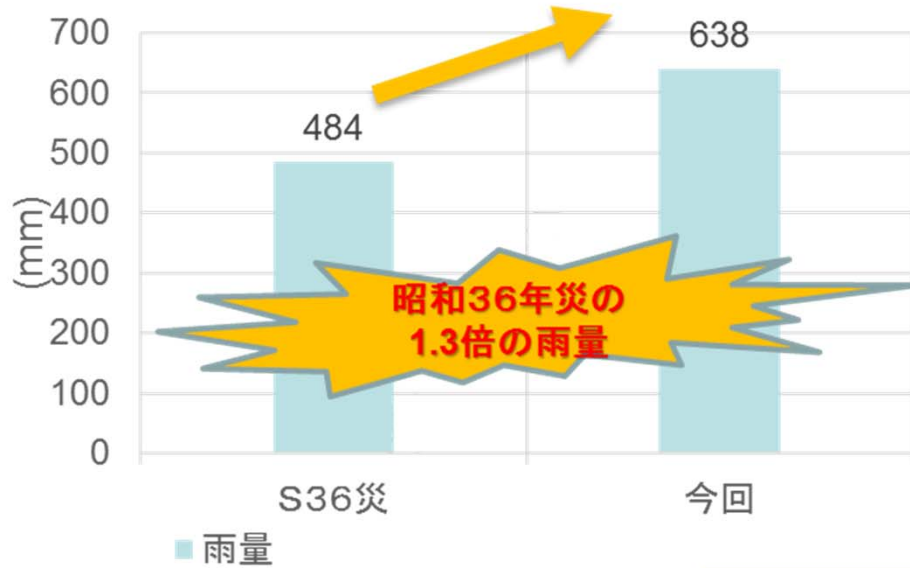
※1 狩野川台風災害誌 ※2 10月16日時点 土砂災害件数【第9報】  
※3 10月25日時点 台風第19号による被害状況について【第15報】より作成

# 5. ハード対策の効果(砂防堰堤)

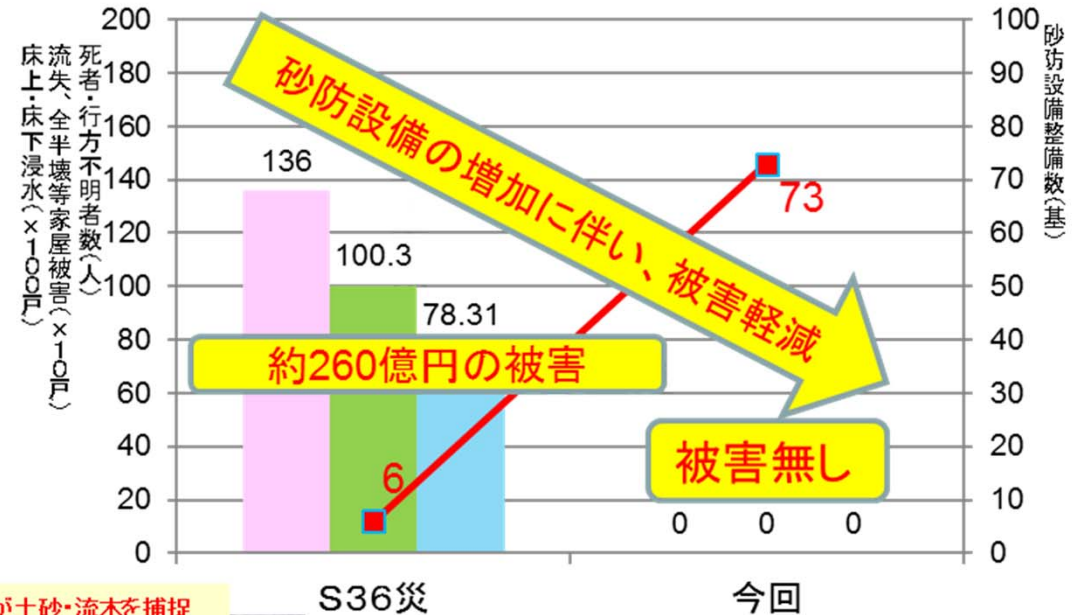
## 天竜川流域における砂防事業(天竜川水系直轄砂防事業)の効果(速報)

- ・令和元年10月 台風第19号により、戦後最大の災害「昭和36年災」を超える638mmの総雨量を観測しました。
- ・昭和36年災では136名の死者・行方不明者、8,800戸を超す家屋被害が発生したが、その後の着実な砂防堰堤整備により土砂洪水氾濫を防止しました。
- ・昭和36年災以降の砂防の設備投資約330億円により、流域の約870億円の資産に対して被害を軽減しました。

昭和36年災における総雨量の比較



昭和36年災の出水の被害状況と今回の比較



S36災 伊那市長谷の被災状況



砂防堰堤の整備により被害無し

台風19号 砂防堰堤が土砂・流木を捕捉 (小瀬戸第1砂防堰堤(三峰川本川上流部))



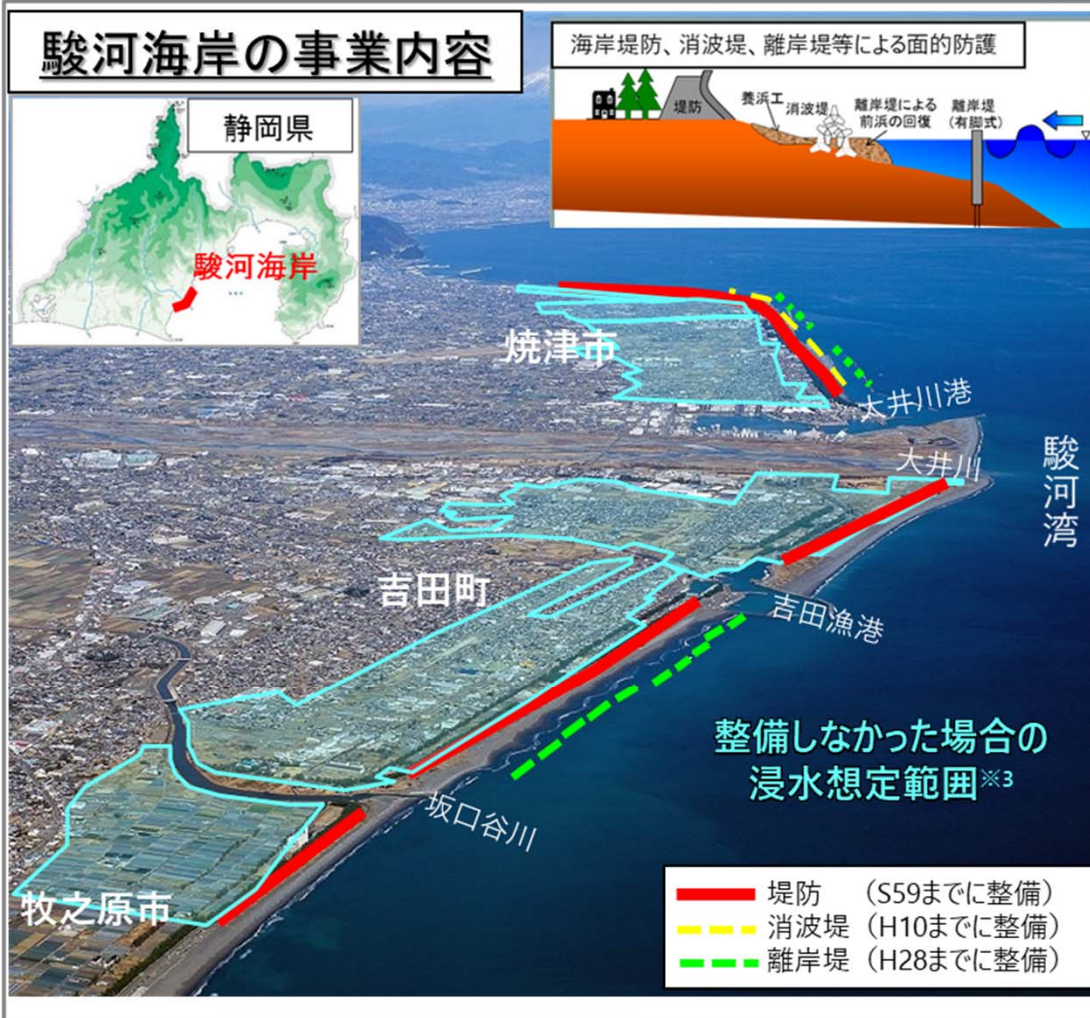
■ 死者・行方不明者(人)  
 ■ 流失、全半壊等家屋被害(×10戸)  
 ■ 床上・床下浸水(×100戸)  
 ■ 砂防設備整備数(基)

※ 砂防設備整備数は三峰川流域の直轄分の集計  
 ※ 被害状況は天竜川流域(長野県)の集計(天竜川水系河川整備計画より転載)  
 ※ 総雨量は三峰川流域での最大の雨量観測所の値(S36は非持、今回は北沢)  
 ※ 被害額は上伊那地域の被害額を現在価値に換算したもの  
 ※ 資産(便益)は1/100洪水時の土砂・洪水氾濫における被害から計算

# 5. ハード対策の効果(駿河海岸)

## 高波に対する海岸保全施設の整備効果 - 駿河海岸 - (速報)

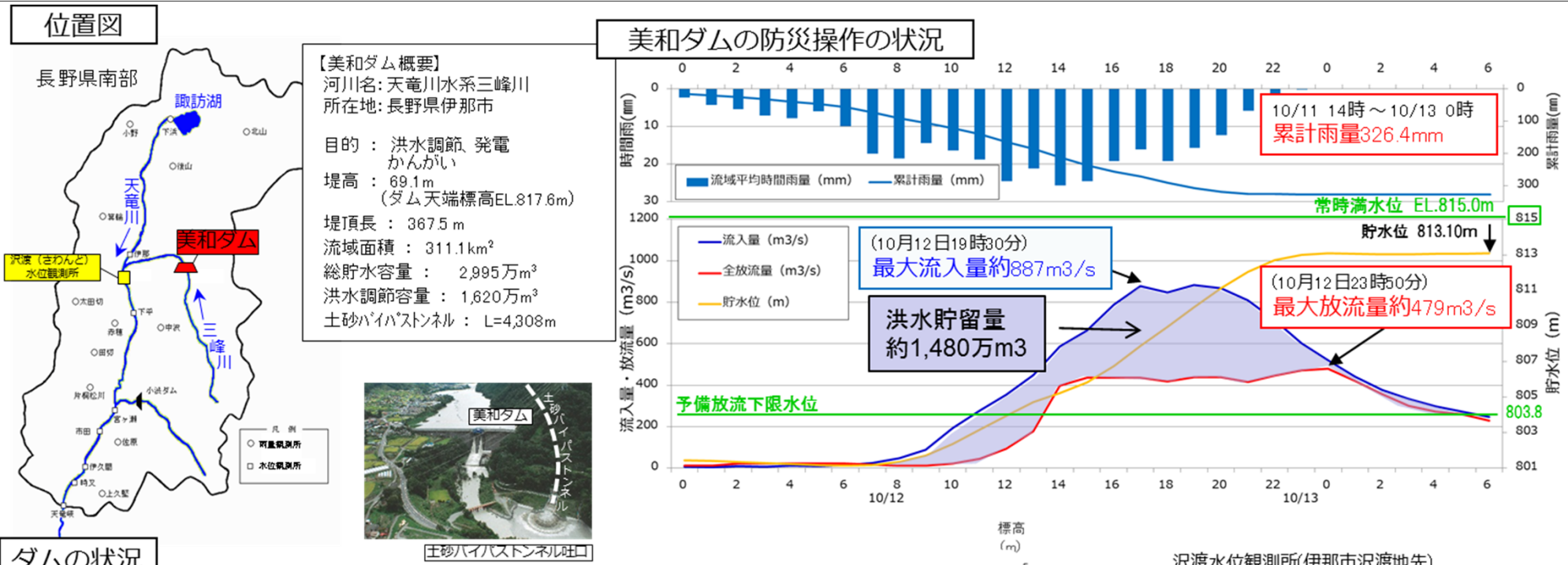
- 駿河海岸(静岡県)では、令和元年台風第19号において、**観測史上最高の潮位 T.P.+1.70m (清水港)と波高 8.91m (駿河海岸沖)を記録**しました。
- これまでの**海岸保全施設の整備がなければ、約 5,000 戸の家屋と約 700 事業所の工場へ浸水被害の発生が想定**されました。
- 駿河海岸の海岸保全施設(堤防・消波堤・離岸堤)の整備によって、一部区間での越波はあったものの、**焼津市・吉田町・牧之原市を高波被害から守りました。被害防止の効果は約 2,900 億円**と推定されます。



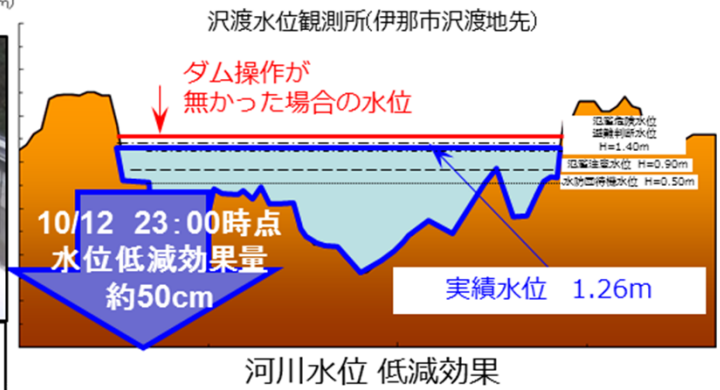
# 5. ハード対策の効果(美和ダム)

## 美和ダムの防災操作による河川水位低減効果(速報)

- ・非常に強い台風第19号の影響により、10月11日の降り始めからの降水量は、美和ダム流域平均で約326mmを記録しました。また、最大流入量約887m<sup>3</sup>/sは過去3番目に大きい流入量であり、10月12日21時30分～13日1時00分までの間異常洪水時防災操作を実施しています。
- ・美和ダムでの防災操作の実施により、最大約1,480万m<sup>3</sup>の水を貯留し、ダム操作がなかった場合と比較して、ダム下流の沢渡(さわんど)地点の水位は、約50cm低下したものと推定されます。
- ・美和ダム再開発により、約6時間にわたりダム下流の河川流量を約50m<sup>3</sup>/s低減したと推測されます。



### ダムの状況



# 5. ハード対策の効果(美和ダム 土砂バイパストンネル)

## 美和ダムのバイパストンネルによる効果(速報)

- ・台風第19号による出水において、土砂バイパス施設※を約9時間運用し、美和ダム貯水池への土砂流入を抑制しました
- ・今回の運用では、美和ダム貯水池へ流入する土砂(ウォッシュロード)を、**ダンプトラック約1万3千台分(約6万7千m<sup>3</sup>)**抑制することができたと推定されます。

### ※土砂バイパス施設とは・・・

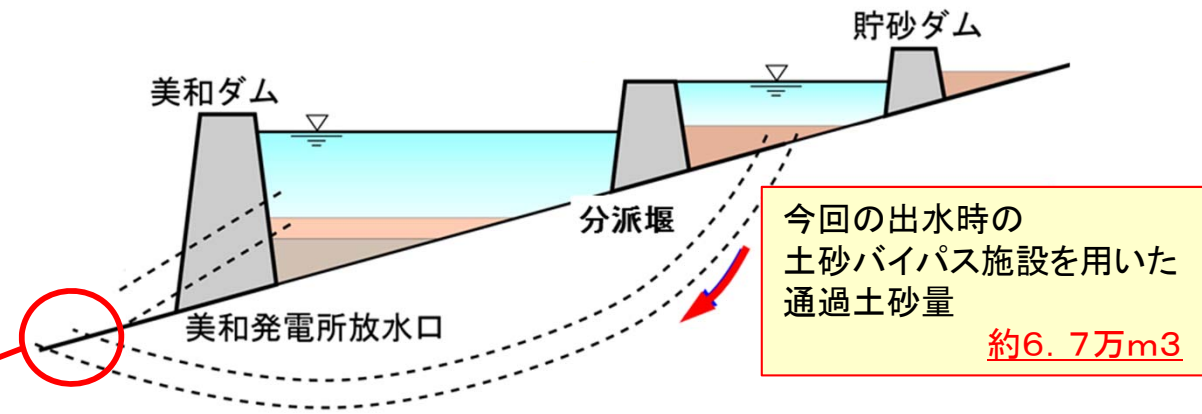
- ・美和ダム貯水池への堆砂を抑制するとともに、ダム地点における土砂移動の連続性を確保するための施設。
- ・粗い土砂を堰き止める貯砂ダム・分派堰と、美和ダム貯水池を迂回して土砂を下流に流す土砂バイパストンネルなどで構成されています。
- ・また、この土砂バイパストンネルを活用しダム湖に流入・堆積した土砂を下流に排砂するためのストックヤード施設を施工しています。



ダム上流流入地点 (10月12日 13時頃)



土砂バイパストンネル吐口 (10月12日 14時頃)



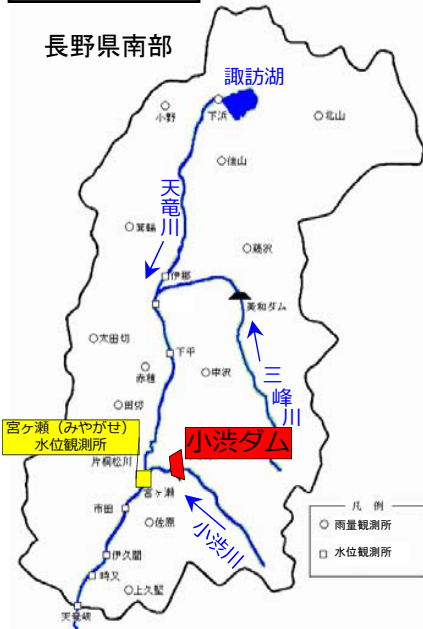
※通過土砂量の速報値について  
「流入量-土砂濃度関係式」を用いて算定した推定値を報告するものです。

# 5. ハード対策の効果(小渋ダム)

## 小渋ダムの防災操作による水位低減効果(速報)

- ・非常に強い台風第19号の影響により、10月11日の降り始めからの降水量は、小渋ダム流域平均で約159mmを記録しました。
- ・小渋ダム管理開始以降(50年間)で**13番目の流入量**約350m<sup>3</sup>/sを記録しました。
- ・小渋ダムでの防災操作の実施により、最大約8,360千m<sup>3</sup>の水を貯留し、ダム操作がなかった場合と比較して、ダム下流の宮ヶ瀬(みやがせ)地点の水位は、約40cm低下したものと推定されます。

位置図



**【小渋ダム概要】**

河川名: 天竜川水系小渋川  
所在地: 長野県中川村、松川町

目的: 洪水調節、発電  
特定かんがい

堤高: 105.0m  
(ダム天端標高EL.620.0m)

堤頂長: 293.3 m

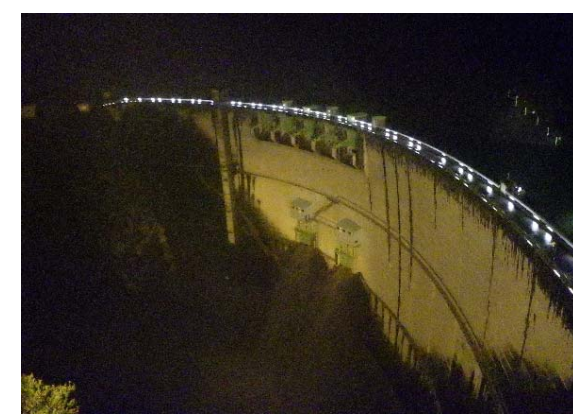
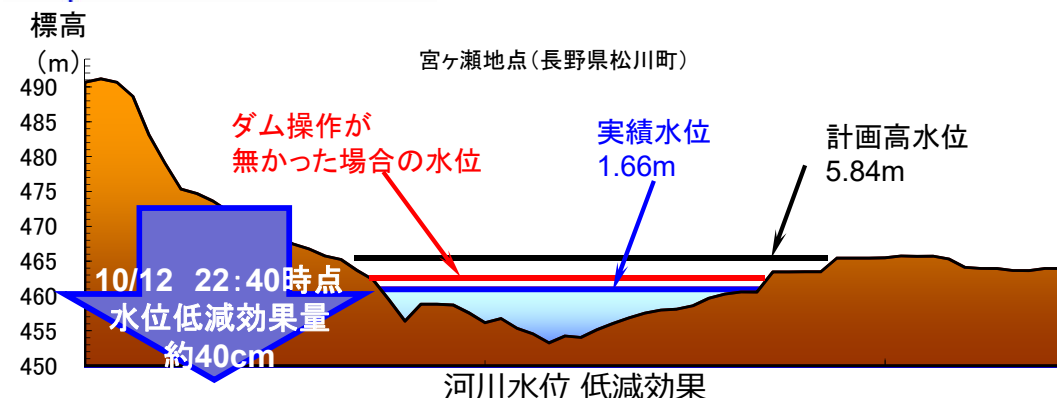
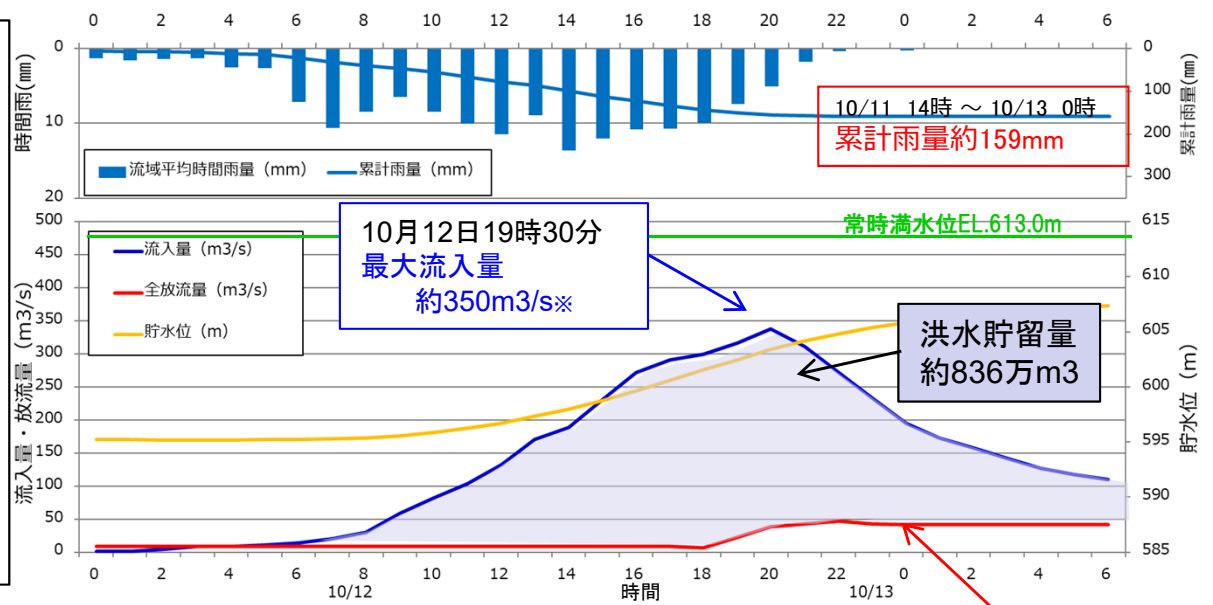
流域面積: 288.0 km<sup>2</sup>

総貯水容量: 5,800 万m<sup>3</sup>

洪水調節容量: 3,390 万m<sup>3</sup>  
(梅雨期)

管理開始: S44年7月~

小渋ダムの防災操作の状況



10月12日22時00分  
最大放流量  
約60m<sup>3</sup>/s\*

\*最大流入量・最大放流量は瞬時値

防災操作状況(10月12日21:00)

# 6. 逃げ遅れゼロに向けた取組と効果(気象台と連携した合同説明会)

- 台風第19号(狩野川台風)に匹敵する旨、気象庁が説明の接近の際、静岡県内で大規模な水災害が発生するおそれがあったことから、逃げ遅れゼロを目指し、住民へ危機感を共有するため、中部地方整備局と静岡地方気象台が連携し合同説明会および記者会見を実施しました。
- また、説明会の様子は、テレビや新聞で取り上げられるとともに、YouTubeやTwitterを活用して広く周知しました。



中部地方整備局による説明



気象台長と総括防災調整官による注意喚起



国土交通省 中部地方整備局

YouTube

ホーム

アップロード

令和元年10月11日台風第19号に関する中部地方整備局と静岡地方気象台による合同説明会(その3)

YouTubeによる配信

国土交通省 中部地方整備局 広報

国土交通省 中部地方整備局 広報

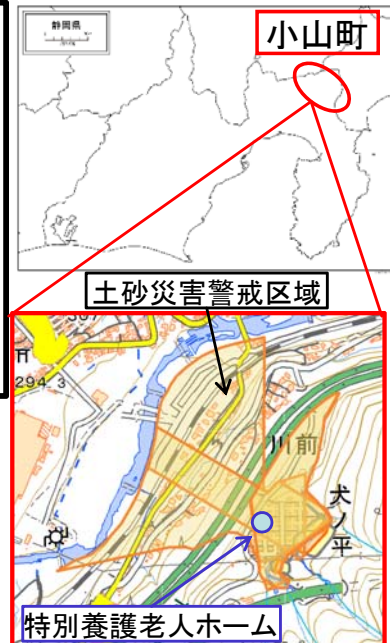
国土交通省 中部地方整備局 広報

Twitterへの投稿



# 6. 逃げ遅れゼロに向けた取組と効果

- 午前11時、土砂災害発生のおそれのある地区に避難勧告が発令され、その後、避難指示に切り替わった。
- 特別養護老人ホーム職員が**施設利用者を2階へ移動させた後**、近くの山から発生した**土石流が、施設の1階部分に流入**したが、利用者及び職員**全員難を逃れた**。
- 同施設は、**土砂災害警戒区域内**に存しており、作成していた**避難確保計画\***に基づき**日頃から避難訓練\***を実施していた。



【災害の経緯】令和元年10月12日

AM10:37 土砂災害警戒情報発表

AM11:00 避難勧告発令

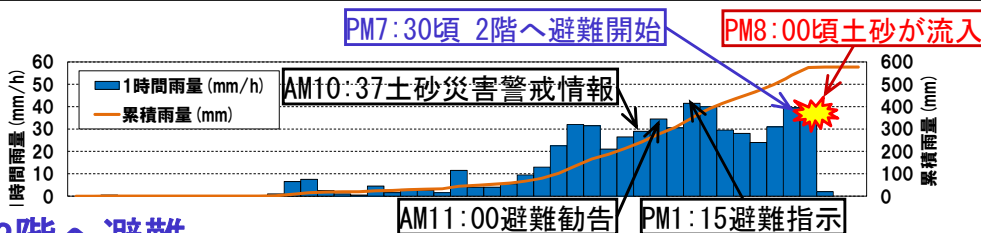
PM 1:15 避難指示発令

PM 7:30頃

利用者及び職員全員2階へ避難

PM 8:00頃

施設1階に大量に土砂が流入

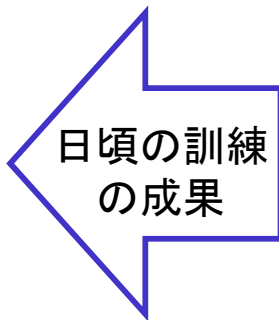


R1. 10/11~12雨量状況(御殿場観測所)



施設1階に土砂が大量に流入したが、全員無事

写真提供: 静岡県



令和元年6月同施設での避難訓練実施状況

写真提供: 静岡県

施設長の声

「**日頃から避難訓練をしていた**こともあり、けが人を出さずにすんでよかった」(NHK報道より)

\*土砂災害防止法により、土砂災害警戒区域内の要配慮者利用施設の管理者等は、避難確保計画の作成・避難訓練の実施が義務づけられている

# 7. 自治体等への支援の状況(リエゾン)

・リエゾン(情報連絡員)を地方公共団体に派遣し、地方公共団体との情報共有を強化するなど防災対応の支援を行いました。(延べ42人)



### ■三重河川国道事務所

派遣先	延べ人数
三重県	1
伊勢市	1
志摩市	1
合計	3

### ■浜松河川国道事務所

派遣先	延べ人数
掛川市	1
菊川市	5
合計	6

### ■沼津河川国道事務所

派遣先	延べ人数
沼津市	2
熱海市	2
三島市	1
伊東市	2
御殿場市	2
下田市	2
裾野市	2
伊豆市	2
伊豆の国市	2
東伊豆町	2
河津町	1
南伊豆町	2
松崎町	2
西伊豆町	2
函南町	3
清水町	1
長泉町	1
小山町	2
合計	33



菊川市 リエゾン派遣の様子



函南町 リエゾン派遣の様子

# 7. 自治体等への支援の状況(ホットライン)

・避難勧告等の発令にあたり緊急時に市町村長が行う状況判断に役立つよう、各種情報についての解説、今後の見通し等を河川管理者等から直接市町村長に助言するホットラインを実施しました。(7水系27市町村 計83回)

## ■天竜川上流河川事務所

水系	市町村	回数
てんりゅうがわ 天竜川	こまがねし 駒ヶ根市	9
てんりゅうがわ 天竜川	いなし 伊那市	4
てんりゅうがわ 天竜川	みやだむら 宮田村	2
てんりゅうがわ 天竜川	まつかわまち 松川町	2
てんりゅうがわ 天竜川	いじままち 飯島町	1
てんりゅうがわ 天竜川	なかかわむら 中川村	1
てんりゅうがわ 天竜川	たかもりまち 高森町	1
てんりゅうがわ 天竜川	とよおかむら 豊丘村	1
てんりゅうがわ 天竜川	たかぎむら 喬木村	1
てんりゅうがわ 天竜川	いいたし 飯田市	1
てんりゅうがわ 天竜川	ちのし 茅野市	1
合計		24

## ■木曾川下流河川事務所

水系	市町村	回数
きそがわ 木曾川	くわなし 桑名市	2
きそがわ 木曾川	きそさきちよう 木曾岬町	1
合計		3

## ■三重河川国道事務所

水系	市町村	回数
くしたかがわ 榎田川	たきちよう 多気町	1
くもずかわ 雲出川	つし 津市	2
くもずかわ 雲出川	まつさかし 松阪市	1
合計		4

## ■浜松河川国道事務所

水系	市町村	回数
きくかわ 菊川	きくかわし 菊川市	16
きくかわ 菊川	かけがねし 掛川市	3
合計		19

## ■静岡河川事務所

水系	市町村	回数
あべかわ 安倍川	しずおかし 静岡市	4
あべかわ 安倍川	まきのほらし 牧之原市	2
合計		6

## ■沼津河川国道事務所

水系	市町村	回数
かのがわ 狩野川	いずし 伊豆市	2
かのがわ 狩野川	いずくにし 伊豆の国市	2
かのがわ 狩野川	かんなみちよう 函南町	2
かのがわ 狩野川	しみずちよう 清水町	7
かのがわ 狩野川	みしまし 三島市	2
かのがわ 狩野川	ぬまづし 沼津市	7
かのがわ 狩野川	ながいずみちよ 長泉町	5
合計		27



# 7. 自治体等への支援の状況(災害対策車の派遣)

・家屋浸水、道路冠水など内水氾濫の拡大を防ぐため、沿川自治体等からの支援要請に基づき、災害対策車両(排水ポンプ車)を合計19台派遣しました。

## ■国交省排水ポンプ車による水防活動状況

### <国管理河川>

整備局等	水系	河川	市町村	出動数 (台)
中部	かがわ 狩野川	かがわ 狩野川	いずくにし 伊豆の国市	1
中部	かがわ 狩野川	だしばがわ 大場川	みしまし 三島市	2
中部	かがわ 狩野川	かきさわか 柿沢川	かんなみちよう 函南町	1
中部	きくがわ 菊川	くろさわ 黒沢川	きくがわ 菊川市	1
中部	きくがわ 菊川	うしふちがわ 牛淵川	きくがわ 菊川市	1
中部	みやがわ 宮川	しるたにがわ 汁谷川	いせし 伊勢市	1
中部	かがわ 狩野川	だしばがわ 大場川	かんなみちよう 函南町	1
合計				8

### <都道府県管理河川>

都道府県	水系	河川	市町村	排水P車出動状況
				出動数 (台)
静岡県	ふじかわ 富士川	ふじかわ 富士川	ふじし 富士市	1
静岡県	はまかわ 浜川	はまかわ 浜川	しずおかし 静岡市	1
静岡県	さぐちやがわ 坂口谷川	さぐちやがわ 坂口谷川	まきのほらし 牧之原市	1
静岡県	せとがわ 瀬戸川	いしわがわ 石脇川	やいづし 焼津市	1
三重県			しまし 志摩市	1
三重県			しまし 志摩市	1
三重県	みやがわ 宮川	やたがわ (準)矢田川	いせし 伊勢市	1
三重県	みやがわ 宮川	いすずがわ 五十鈴川	いせし 伊勢市	1
長野県			たかきむら 喬木村	1
長野県			いいたし 飯田市	1
静岡県	かがわ 狩野川	おおいゑがわ (準)大平江川	ぬまづし 沼津市	1
合計				11

## ■排水作業実施状況

### 沼津河川国道事務所



三島市御園地区における稼働状況



伊豆の国市宗光寺川における稼働状況

### 浜松河川国道事務所



菊川市江川における稼働状況

### 三重河川国道事務所



志摩市大王町における稼働状況



伊勢市汁谷川水門における稼働状況

# 7. 自治体等への支援の状況(TEC-FORCE活動)

・台風第19号による広域的な被災を受け、10月14日より、中部地整から関東地整、東北地整へ全体で22班66名、排水ポンプ車25台、照明車12台、路面清掃車4台、散水車3台、配水管清掃車1台、協定業者35社129名の大規模なTEC-FORCE部隊を派遣しており、これまでに延べ1,224名以上を派遣しています。 ※令和元年11月5日時点

## ■関東地整TEC部隊

(計:4班7名、ポンプ車5、照明車1、路面清掃車4、散水車3、配水管清掃車1)

派遣する班	人数等
総括班(指示調整)	1班3名
応急対策班(排水作業)	1班2名
応急対策班(清掃)	2班2名
災害対策車両	ポンプ車5台 照明車1台 路面清掃車4台 散水車3台 配水管清掃車1台 協定業者44名

## ■東北地整TEC部隊

(計:18班59名、ポンプ車20台、照明車11台)

派遣する班	人数等
総括班(指示調整)	1班 5名
広報班	1班 2名
河川調査班(被災状況調査)	4班16名
砂防調査班(被災状況調査)	3班12名
道路調査班(被災状況調査)	5班20名
応急対策班(排水作業)	4班 4名
災害対策車両	ポンプ車20台 照明車11台 協定業者85名



埼玉県坂戸市  
排水作業



宮城県岩沼市志賀沢川  
被災状況調査



岩手県久慈市北の越川  
被害状況調査



岩手県宮古市崎山付近  
被害状況調査

# 8. 関係機関との連携

- ・水防団、建設業、コンサルタント・測量業、機械電気設備業、県・市町、河川管理者など、多くの機関の連携した活動により浸水被害を軽減しました。
- ・出水後の点検を実施し、管内の堤防や護岸の損傷の有無や斜面等の施設周辺の状況を確認しました。

## 水防団・消防団



水防団や災害協定業者による土嚢製作  
(静岡県菊川市)



消防団によ河川巡視  
(三重県松阪市)

## 建設業、測量・コンサルタント



建設事業者による排水準備作業  
(静岡県菊川市)



測量業者による流量観測  
(三重県松阪市)

## 機械・電気通信設備



防潮水門の操作



電気通信機器の監視

## 出水後の施設点検



航空機による流域の斜面状況調査



堤防や護岸の確認調査